



「子どもサッカー新学期応援事業」 アンケート調査報告書

2021年5月17日公開



はじめに

日本のサッカー界では、競技側からもビジネス側からもよく「日本サッカーを盛り上げよう」という言葉が聞かれます。けれども、残念ながら大半の場合、そのイメージされる世界に経済的・社会的に弱い立場にある子どもたちは含まれていません。

その理由は、「サッカーをしたくてもできない子どもたち」の存在が目に見えづらいためではなく、私たちサッカー関係者がその存在に目を向けようとしてこなかった姿勢と関係しています。

今回 love.fútbol Japan が実施をした「子どもサッカー新学期応援事業」では、課題の見える化と必要とされる支援の把握を進めるため、受益者に対するアンケート調査を実施しました。その結果、子どもたち・家庭の深刻な状況が見えてきました。

この報告書では、「サッカーをしたくてもできない子ども」に関する課題、今後必要とする支援内容、love.fútbol Japan としての今後の提言等をまとめています。

問われているのは今後です。ひとりでも多くのサッカーコミュニティが現状を知り、必要な行動を共に起こしていけると幸いです。

この報告書の位置づけ



「申請者の状況に関する報告書」
(速報版)」

事業申請者 90 世帯・102 人の申請時に記載いただいた状況、申請理由をまとめています。
(2021 年 3 月 8 日公開)



「事業報告書」

事業結果と受益者の属性や、受益者からの御礼の声を中心にまとめています
(2021 年 5 月 10 日公開)



「アンケート調査報告書」

受益者に対するアンケートを通じて課題、必要な支援を「見える化」し、団体からの提言をまとめています
(2021 年 5 月 17 日公開)

調査概要

目的	「サッカーをしたくてもできない子ども」という、その存在の 見えづらさゆえにこれまでの支援活動から取り残されてきた 子どもたち及びご家庭の現状、課題、必要する支援を把握し 見える化すること。また、日本サッカー界と共有し、より有 益な活動への発展、活動を支える仕組みづくりに繋げること。
対象地域	日本 26 都道府県（受益者の所在地）
回答者	受益 87 世帯の保護者（事業への申請者）
方法	アンケートを郵送し、自記式の任意回答の上、郵送で返送
回収期間	3 月 17 日～3 月 30 日
回収率	100%（87 世帯）
実施	love.fútbol Japan

1 サマリー

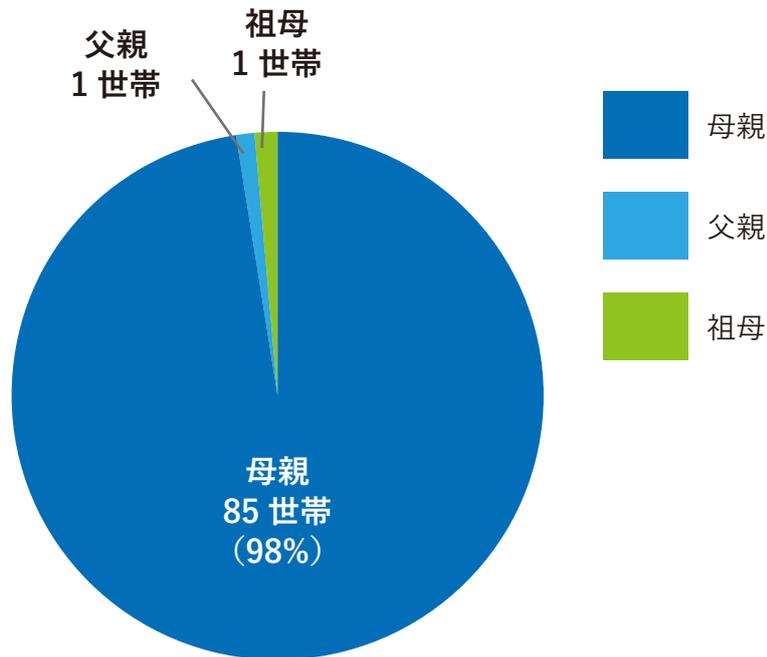
調査結果のまとめ

1. 約 30% が今回の支援でサッカーを始める、または再開する
2. 100% の世帯が今後も今回のような支援を希望している
3. 約 31% の世帯が子どもがサッカーを始めるまたは続けるために、「借入」をしたことがある
4. 世帯年収が 200 万円以下の世帯は、全体の 58%
5. 「経済的な理由で子どもにサッカーを続けさせられない」世帯は、小学校時点で 6%。中学、高校、大学に上がるに合わせてその割合は 14%、18%、25% と倍増している
6. 今後必要とする支援では、「奨励金」が最も多く、全体の 92% が希望している
7. 「子どもが誰でも自由にスポーツを楽しめる居場所」は 47 件 (55%) あり、経済社会的な事情に関係なく、自由にスポーツができる場所の必要性が再認識された
8. 物理的な支援以外では「プロサッカー選手と一緒にサッカー」45 件 (53%) と、「J リーグや日本代表の試合観戦体験」52 件 (61%) の希望件数が多い
9. 「相談環境」に関わるニーズも一定数あるが、相談窓口だけでなく対象者の状況に応じて提案できる支援とセットで整えていくことが望ましい
10. 事業を知った方法は、「NPO から」が 75% と圧倒的に多い。対象者にアウトリーチするには子ども支援に取り組む NPO との連携が有効である一方で、サッカー界からの広報には改善の余地がある

2 回答者と世帯について

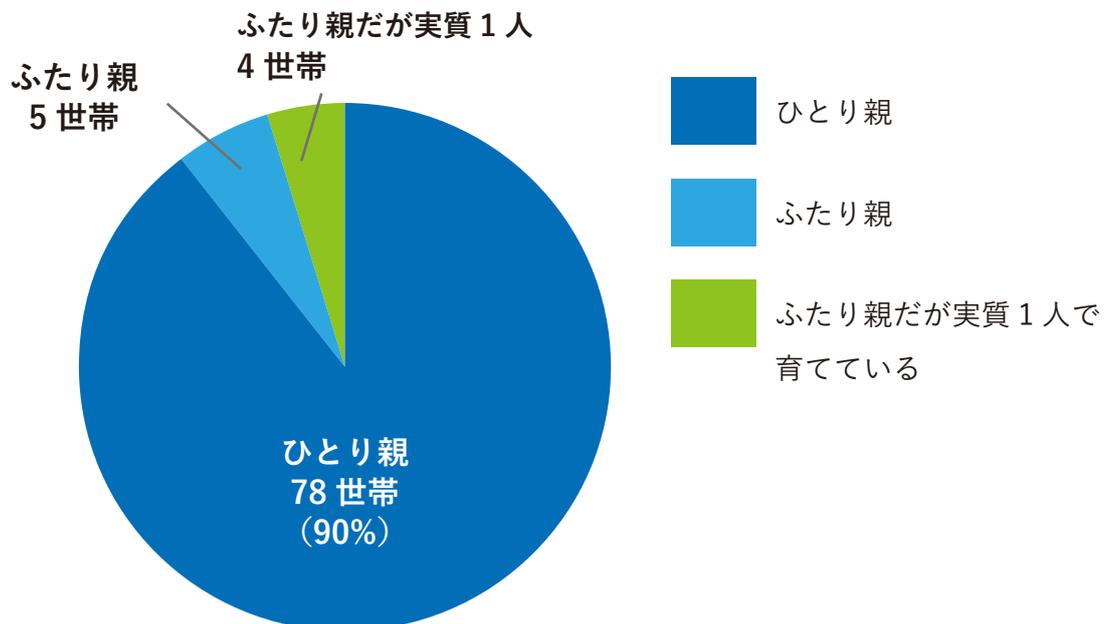
回答者と子どもとの続柄

(回答数：87)



子育て環境

(回答数：87)



サマリー

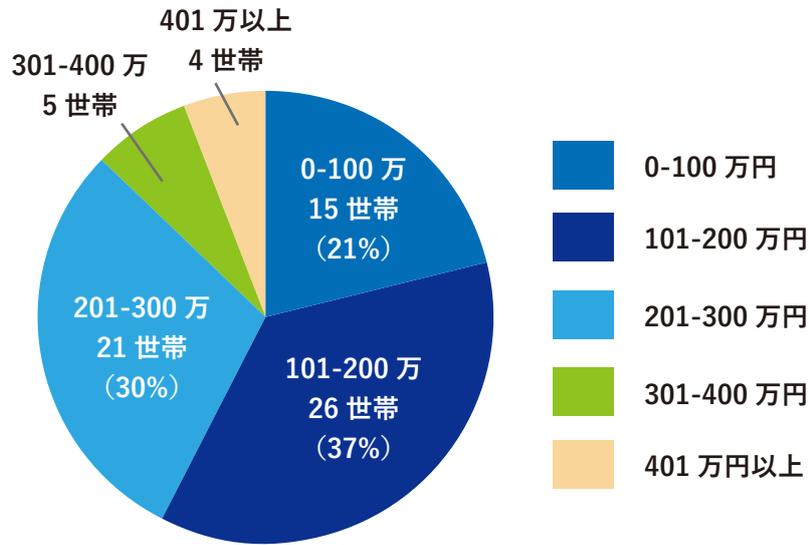
- ・ 回答者 (= 事業への申請者) の 98% は、母親。
- ・ 全体の 90% はひとり親家庭だった。
- ・ 本事業は対象をひとり親家庭に限定していないため、ふたり親世帯およびふたり親だが実質ひとりで育てている家庭を計 9 世帯支援することができた。

2 回答者と世帯について

世帯年収

(回答数：71)

(未回答：16)



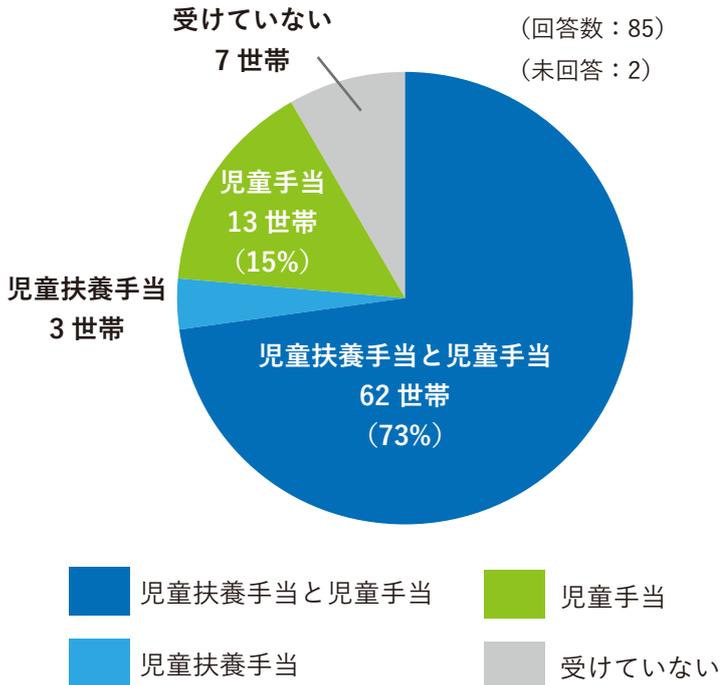
補助金の受給状況

受けていない

7世帯

(回答数：85)

(未回答：2)

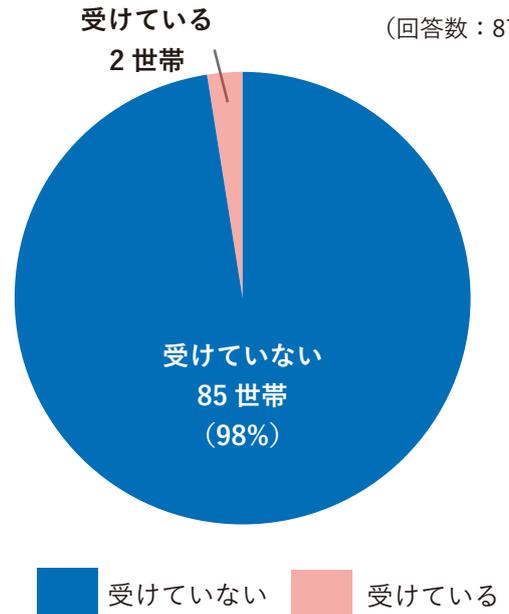


生活保護の受給状況

受けている

2世帯

(回答数：87)



サマリー

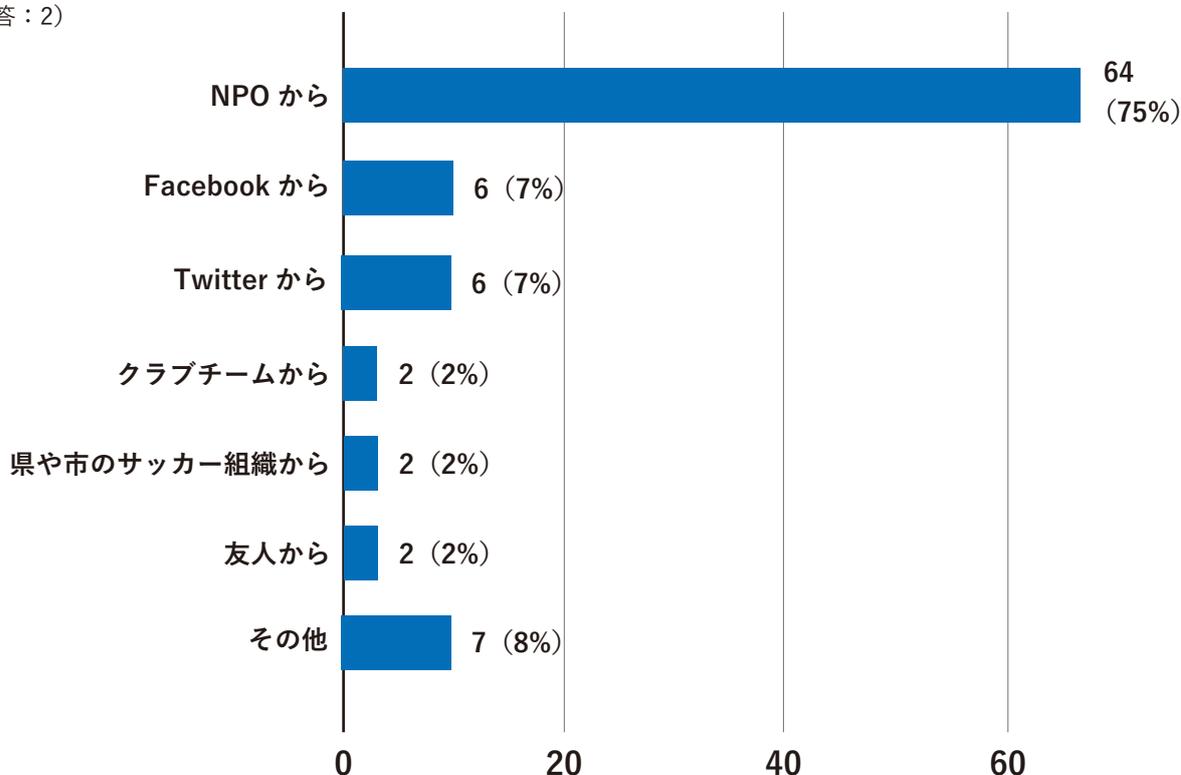
- ・世帯年収が200万円以下は全体の58%。
- ・全体の92%が補助金を受給し、うち73%が児童扶養手当と児童手当の両方を受給している。
- ・生活保護世帯は、2世帯（約2%）のみ。

3 本事業を知った方法（複数選択）

本事業を知った方法

（回答数：85）

（未回答：2）



- ・「NPO から」のうち「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」11件、「カタリバ」2件、「キッズドア」1件。
- ・「その他」は、「ひとり親サポート」、「フードバンク北九州」、「子育て応援サイト かいキッズ」、「LINE」、「メール」、「立川みらい」、「エスクル」が各1件。
- ・「Instagram」、「行政」、「学校・部活」、「親族」は選択肢にはあったが、回答は0。

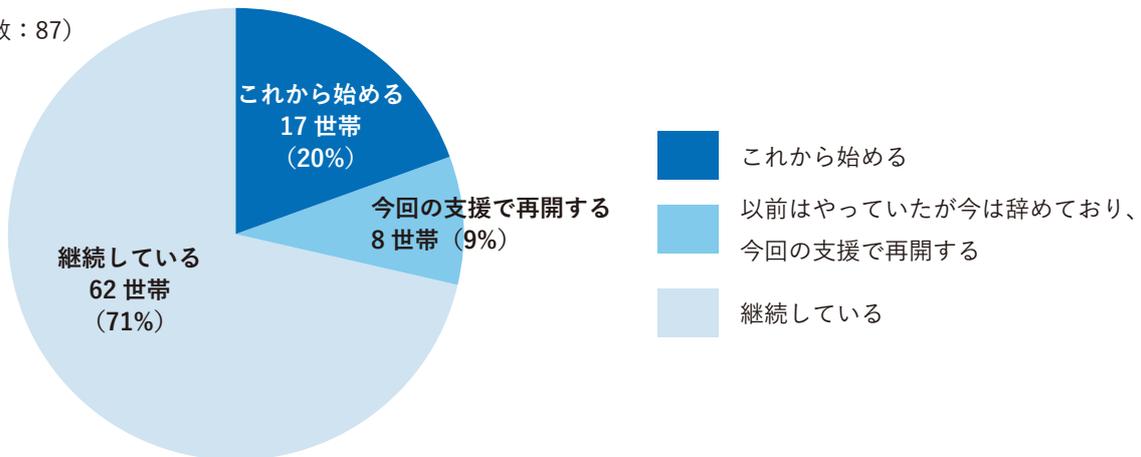
サマリー

- ・事業を知った方法は、「NPO から」が75%と圧倒的に多い。対象者にアウトリーチするためには子ども支援に取り組むNPOとの連携が有効であることが確認できた。
- ・クラブチームからの2回答はいずれも沖縄県の町クラブ。
- ・本事業はJリーグ、Jリーグクラブにも共有し案内を依頼したが、協力は消極的で、効果も見られなかった。今回は20県より申請がなく、支援を必要としても情報が届いていない人がいる可能性が想像できるため、広報面において、サッカー界の関わり方に改善の余地がある。

4 子どものサッカー環境について

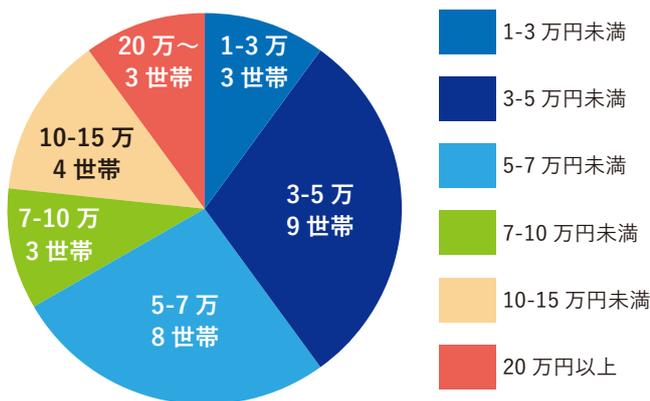
子どもの現在のサッカー状況

(回答数：87)

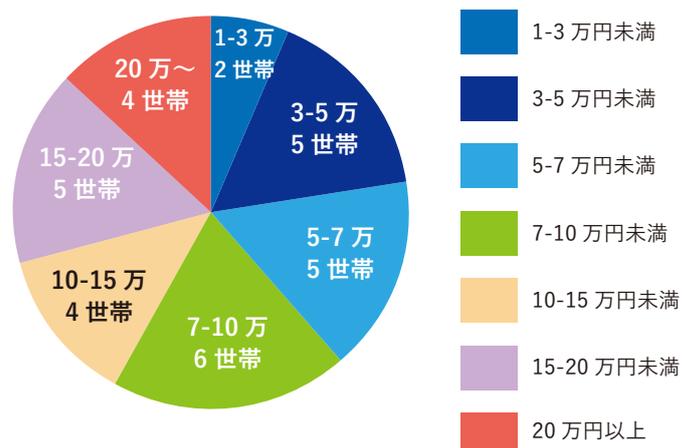


年間の費用

【部活】 (回答数：30)



【クラブ・スクール】 (回答数：31)



過去に辞めた理由

- ・離婚に伴い転居・転校し、経済的にも時間的にも余裕が全くなかったため
- ・遠征費が払えず、送り迎えも仕事で難しくなったため
- ・費用の工面が厳しくなったため
- ・子ども自身の入院・手術のため
- ・色覚異常のため、練習が夕方以降になるとピブスが見えづらくチームメイトから「どこに蹴ってるんだよ！」などと言われてしまい、自信を失いかけている。月謝も1万円以上と高額なため。
- ・クラブオーナーのスポーツ保険未加入でのトラブルが発覚したため

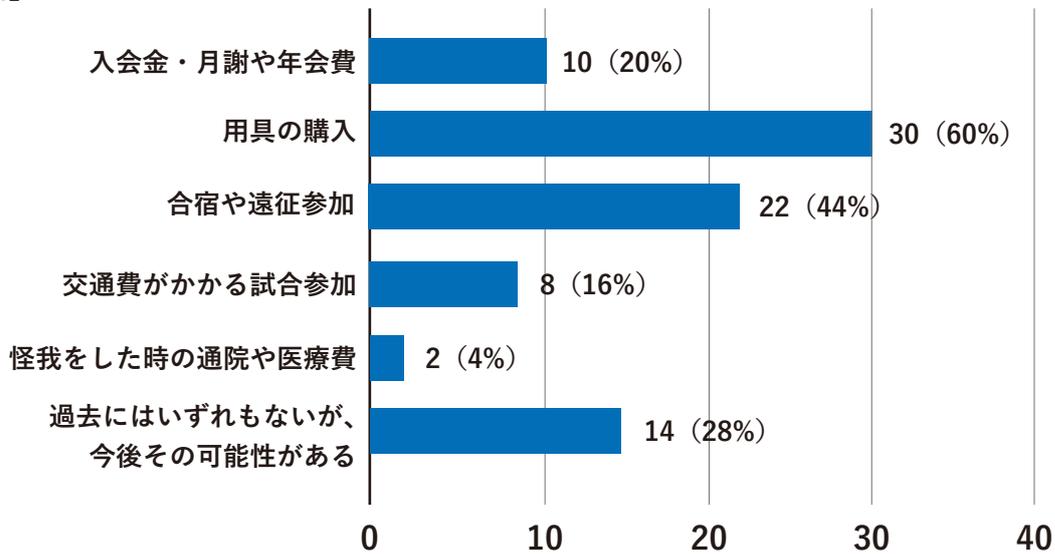
サマリー

- ・今回の支援でサッカーを始める、または再開するのは25世帯（29%）。
- ・年間費用について、5万円の給付金によって1年間の費用をカバーできるのは部活の場合12世帯（40%）、クラブ・スクールの場合7世帯（23%）。半年分の費用をカバーできるのは部活の場合23世帯（77%）、クラブ・スクールの場合16世帯（52%）。

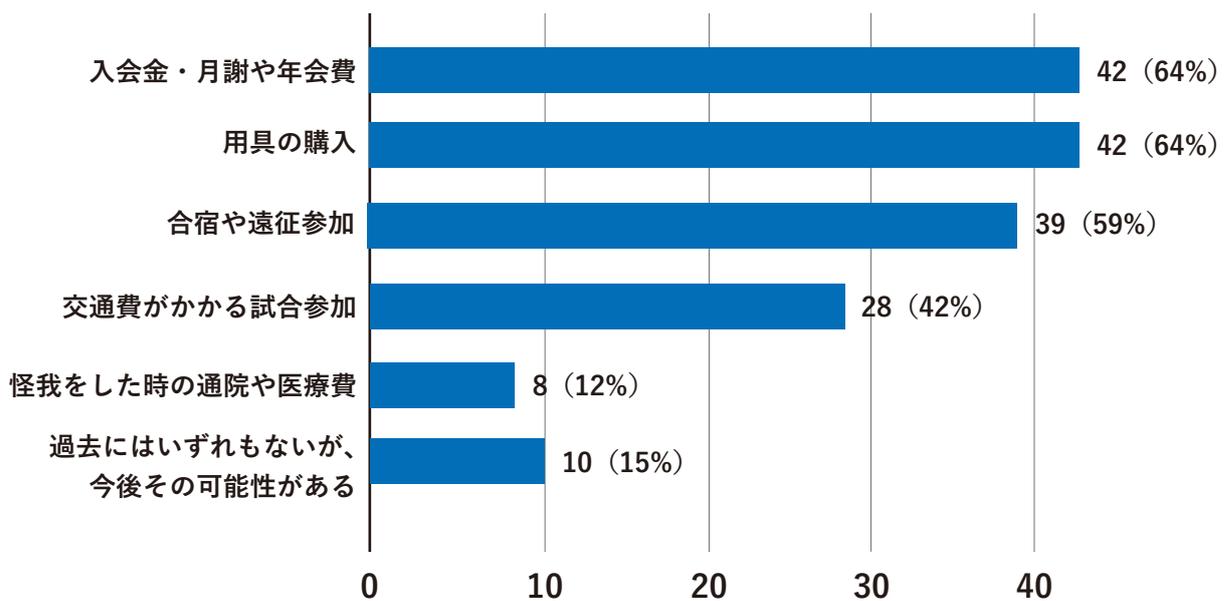
5 子どものサッカー環境について

Q. これまで経済的的な理由により、子どもに下記の内容を諦めさせたりしたことはありますか？（複数選択可）

【部活】（回答数：50）



【クラブ・スクールなど学校外の活動】（回答数：66）



保護者の声

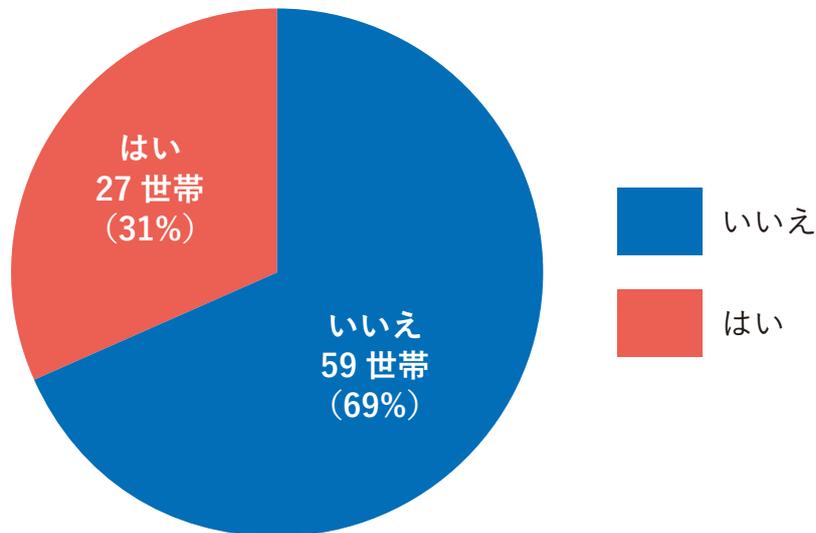
- 去年はコロナの影響で遠征がほとんどなかったので正直経済的に助かりました。今年はクラブチーム最後の年で、遠征があればその分追加で費用が発生するので心配。でも沢山試合をさせてあげたい。
- すぐ足のサイズが大きくなってしまい靴を買い換えるのが大変
- 子どもがサッカースクールに通いたがっていたのですが、始めることが経済面で大変
- 一番の心配は怪我です。怪我をして回復するまでの期間のサポートが不安です。
- 小学校の6年間サッカーをしていましたが、合宿などはいかせられなかったです。もし試合に勝って県外に試合するとなった時、嬉しいけれど費用が出せないかもしれないことが不安です。

5 子どものサッカー環境について

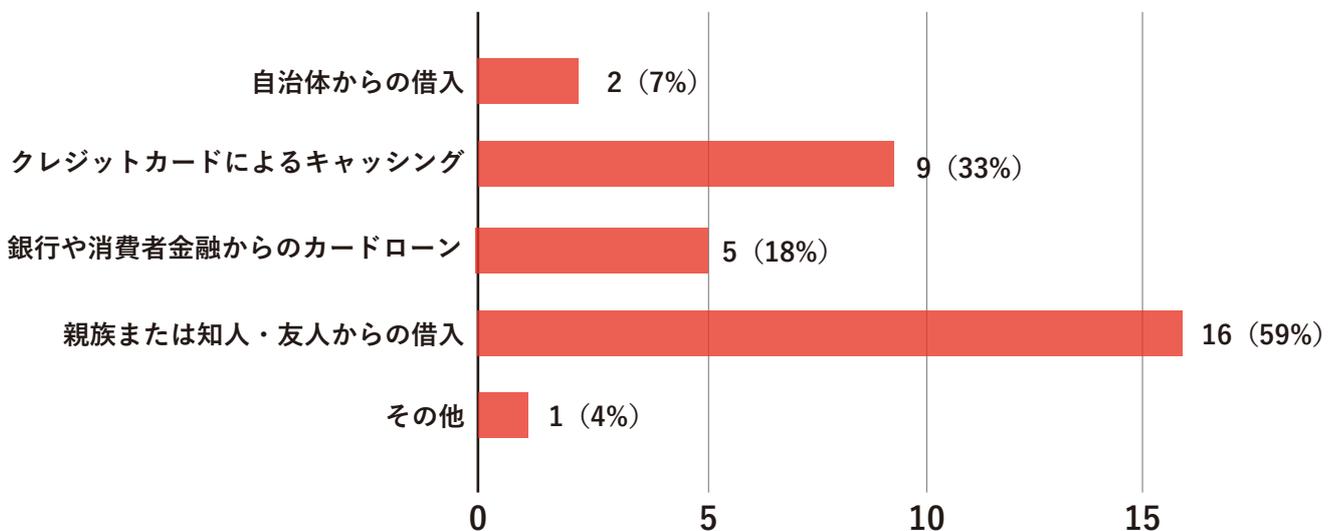
Q. これまで、子どもがサッカーを始める、または続けられるように借入をしたことはありますか？

(回答数：86)

(未回答：1)



Q. 「はい」と回答した場合、該当する借入先を教えてください（複数選択可）



・「その他」の内容は、「職場に給与の前借りをお願いした」。

サマリー

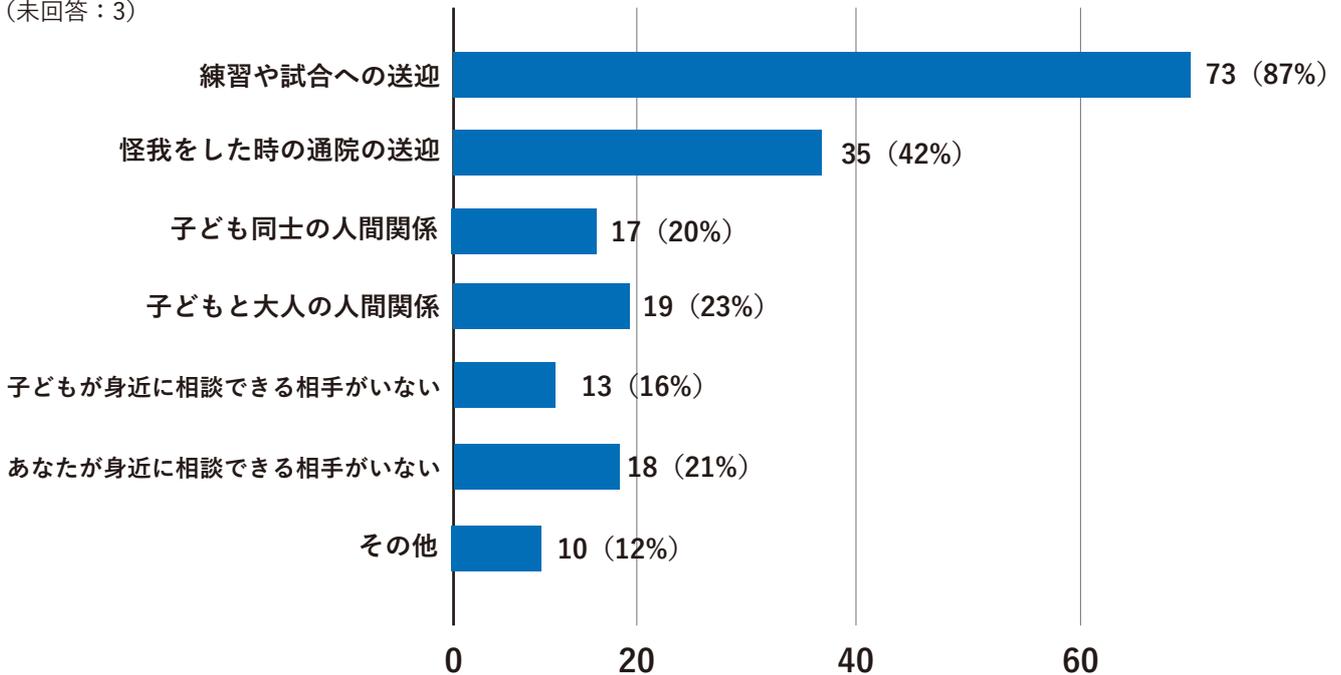
- ・全体の31%（27世帯）が、子どもがサッカーを始めるまたは続けるために、借入をしたことがあると回答。
- ・借入先では「親族または知人・友人」がもっとも多く、次に「クレジットカードによるキャッシング」、「銀行や消費者金融からのカードローン」の順に続く。

5 子どものサッカー環境について

Q. 経済的な理由以外で、子どもがサッカーを始めることや続けることで、あなたが困った（ている）ことがあれば教えてください（複数選択可）

（回答数：84）

（未回答：3）



- ・「その他」は、「親の当番や役員制」が3件、「父親が不在であることの練習環境」、「試合や遠征時の兄弟の対応」、「保護者同士のいざこざ」、「土日休みの仕事探し」、「コーチが変わるたびに子どもとの関係性づくりが0からになること」、「他の子どもに怪我をさせないか」が各1件。
- ・「日本語情報へのアクセス」は選択肢にはあったが、回答は0。

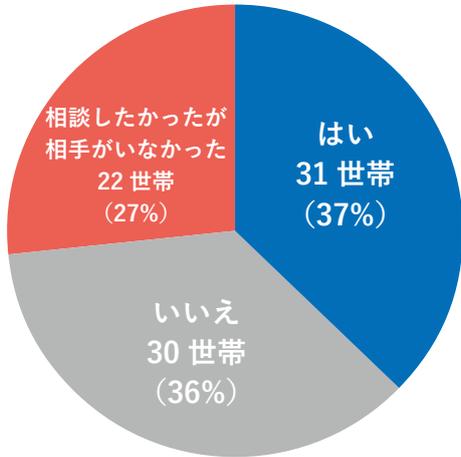
保護者の声

- 所属チームでは、試合の際に保護者に送迎の車出しの依頼をします。我が家では車を保有していないため協力することができず心苦しく思っています。また、コロナ以前は子どもの通っている小学校グラウンドや隣の学校が練習場所でしたが、現在は使用できなくなり遠方の公園球技場に変更しています。これまでは子どもだけで自転車で行きましたが、自転車で片道30分以上かかるような遠いところは難しく、電車やバスを利用し送迎に付き添うこともあります。他の保護者の方が連絡を下さりさせてくださることもあります。こちらからはお願いしづらい状況です。
- 子どもは今回の支援にて念願のサッカーを始められます。ただ、誰も知っている人がいないチームで、小5でのスタートですので、技術面も心の面も心配です。
- 子どもは女の子で身近に相談できる人がいなくて、安価なサッカーチームでは試合に運転して連れていったりいろいろ当番などあり、ひとり親の私には負担が大きく、クラブチームだと費用面での負担が大きい、、、、子どもの希望になかなか応えられないでいます。
- 私に発達障害があり、また母子家庭なので役員ができないため、皆さんに申し訳ない気持ちがあるが、どうしたらいいかわからない。

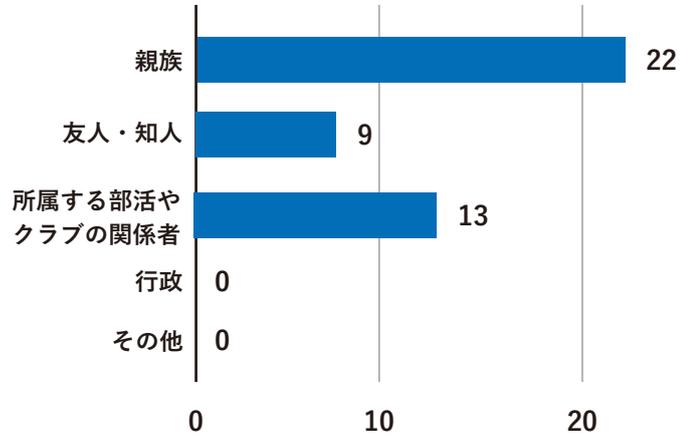
6 相談環境について

Q. 過去に、家庭の経済的理由または社会的な理由で、子どもがサッカーを諦めたりすることがあったとき、誰かに相談したことはありますか？

(回答数：83 未回答：4)

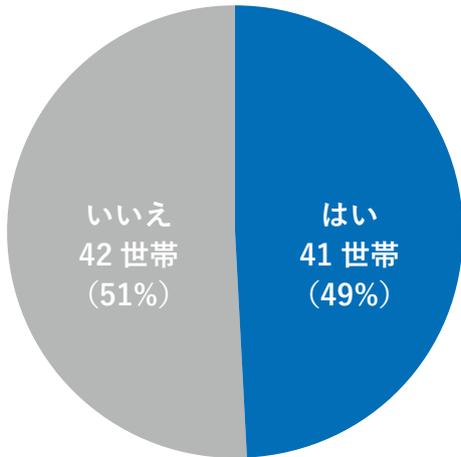


「はい」と回答した方の相談相手（複数選択）

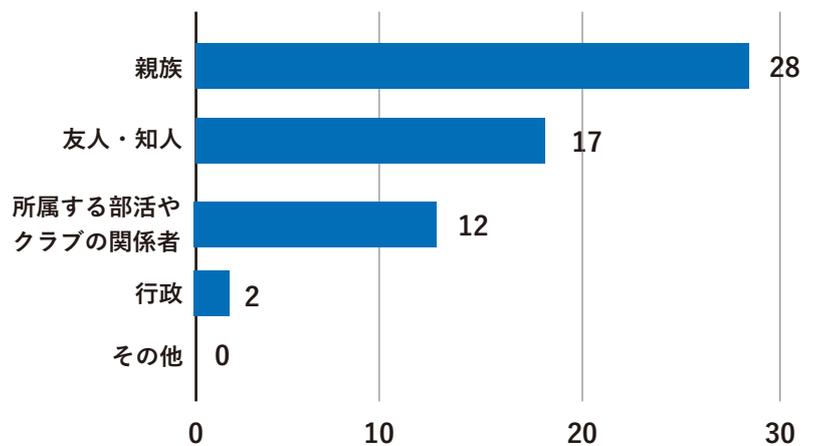


Q. 現在、家庭の経済的理由または社会的な理由で、子どもがサッカーを諦めたりすることがあったとき、相談できる相手はいますか？

(回答数：83 未回答：4)



「はい」と回答した方の相談相手（複数選択）



保護者の声

- 子どもがうちは生活保護でお金がないからプロを目指したくてもなれないと言われてたことがあり悩みました。誰かに相談はしていません。
- コロナの間、息子に練習相手になってと言われてたが、サッカーはわからず、アドバイスもできず心労が積もりました。
- コーチは男性のためお父さん保護者とはコミュニケーションを良く取っていますが、母親はなかなか入り込めず、子どものことも相談しづらい。
- 経済的な理由で部活の合宿に参加できなかった時、「合宿に参加しない者は部員ではない」と言われるなど顧問から子どもへ様々な心ない対応が続きました。学校の先生なら家庭の経済事情を伝えれば理解いただけると思っていたのですがそうはならず。部活顧問は、子どもたちのやる気とは全く関係のない家庭の経済的状況をきちんと汲んでくれる人であるべきだと思います。

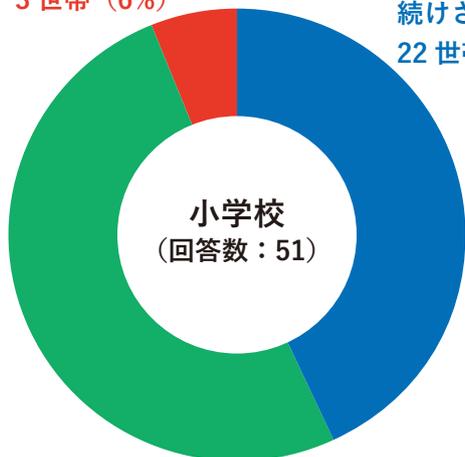
7 継続性について

Q. あなたの世帯では、子どもにどの段階までサッカーを続けさせたいですか？
(子ども本人が継続を望んでいることを前提条件とします)

経済的に続けさせられない

3世帯 (6%)

続けさせたい
22世帯 (43%)

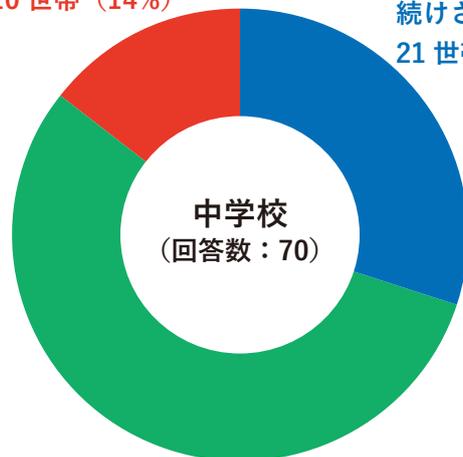


経済的に不安があるが、続けさせたい
26世帯 (51%)

経済的に続けさせられない

10世帯 (14%)

続けさせたい
21世帯 (30%)

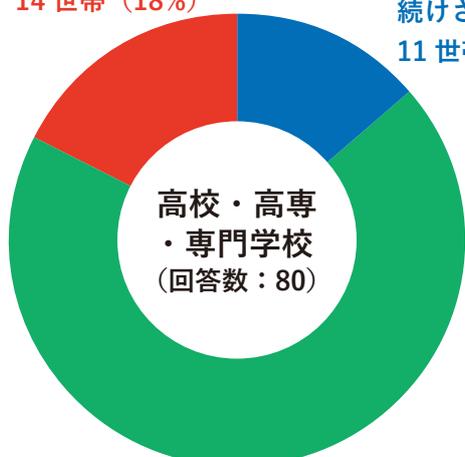


経済的に不安があるが、続けさせたい
39世帯 (56%)

経済的に続けさせられない

14世帯 (18%)

続けさせたい
11世帯 (14%)

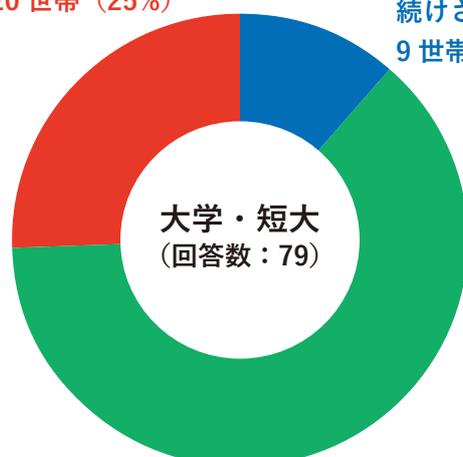


経済的に不安があるが、続けさせたい
55世帯 (69%)

経済的に続けさせられない

20世帯 (25%)

続けさせたい
9世帯 (11%)



経済的に不安があるが、続けさせたい
50世帯 (63%)

サマリー

- ・学年が上がるほど「続けさせたい」は減少する一方、「経済的に不安はあるが、続けさせたい」、「経済的に続けさせられない」が増加する傾向がある。
- ・小学校の段階でも、「経済的に続けさせられない」世帯は6%。中学、高校、大学の段階に上がるほどその割合が14%、18%、25%と倍増している。
- ・「続けさせたい」が大幅に減少するには、中学から高校への進学時期。

7 継続性について

保護者の声

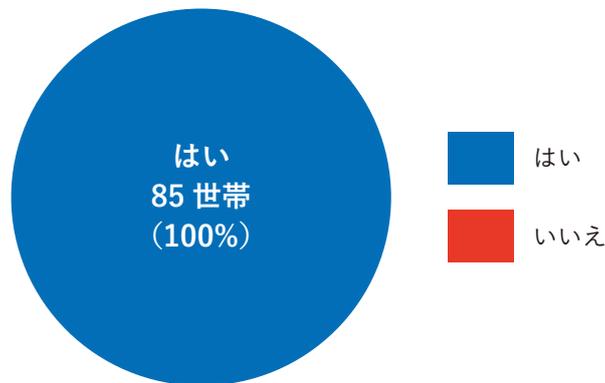
- 高校になると学区外になり、公共の交通費、部活、遠征費、食費などが増加するのではないかと、部活を続けさせてあげたいが経済的に不安です。
- 習いたい、続けたいのに費用の面で習わせてやることができない
- 女子サッカー選手としての将来（仕事、結婚、出産など）が不安ですが、経済的に諦めさせたくない
- 月謝や必要な物を揃えると金銭的にひとり親だときついです。習わせてあげたいと思っても、中々行動できずにいて、12月から習わせましたが、金銭的に厳しいので行く日数を減らしたりと考えています。
- 息子はサッカーが大好きですが、やはり生活のことを考えて、「サッカー辞めたくないけど辞めてもいいよ」とは言う・・・今年6年生になってサッカー部活続けられると伝えると、喜んでいました。本当は辞めさせたりしたくはないです。今の息子にはサッカーが生き甲斐なの分かるから。チームウェア、チーム帽子、スポーツ保険加入など部費以外でも出費があり、6年生にもなると4年生に購入した時とサイズも変わり用具にお金がかかることが多々あります。金銭的にきつくて・・・。
- 今後、高校に進学しても好きなサッカーを続けるだろうか。兄弟の大学進学と高校入学が重なるため、きっとこの子は家計を心配してしまうと思う。
- 進学予定の中学校には部活がなくサッカーを続けるにはクラブチームしかありません。小学生とは違い、中学生になると色々費用がかかります。ひとり親でも、ふたり親でも費用や合宿、送迎など、働いていると負担がかかり、辛いです。
- もし子どもがレベルの高いクラブチームでやりたいと行った時、費用を出せるか不安
- 高3になる息子は、今までサッカーがあったから色々安定しておりましたが、もしかしたらあと1年。大学に行ったとしてもあと5年。サッカーがない人生は安定するのだろうか？と心配です。
- 高校に進学するにあたり部活でどのくらいの費用がかかるのかが心配です。特に私立となると額もより多くなるかと思しますので・・・高校の後の大学も・・・

8 必要な支援について

Q. 今後も今回のような支援を希望しますか？

(回答数：85)

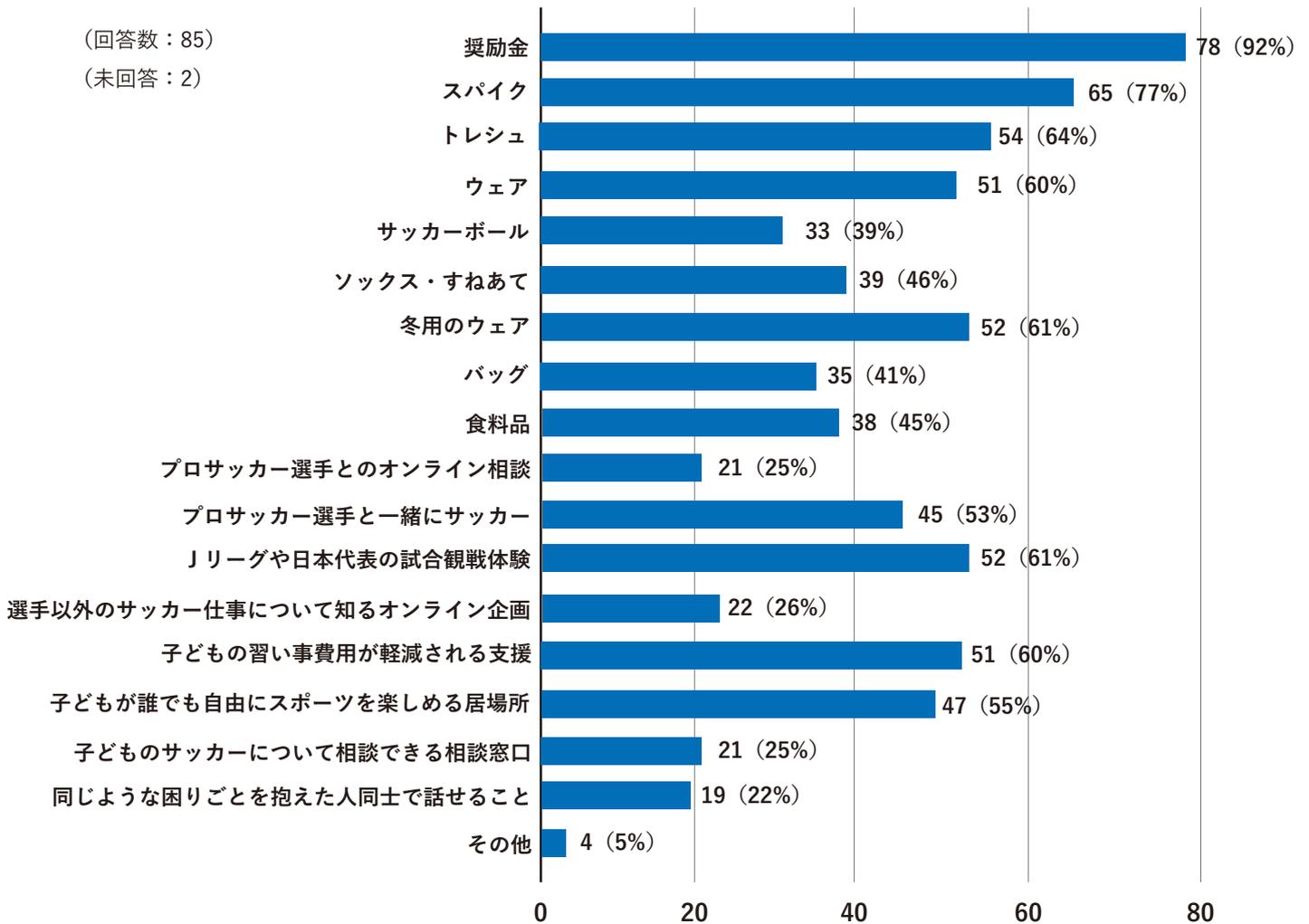
(未回答：2)



今後必要とする支援

(回答数：85)

(未回答：2)



・「その他」は、「清涼飲料水・ゼリー飲料」、「中古用具寄贈」、「無料またはワンコインのサッカー教室」、「レベル・年代別のスクール」が各1件。

8 必要な支援について

サマリー

- ・100%の人が「今後も今回のような支援を希望する」と回答。
- ・今後必要とする支援では、「奨励金」が最も多く全体の92%が希望している。
- ・「スパイク」、「トレシュ」、「ウェア」、「ソックス・すねあて」、「冬用のウェア」等の用具のニーズは高い。ただし、所属する部活・クラブによっては指定のウェア・シューズがあるため、用具を必要としていても申請希望を出さない人たちが一定数いることが確認できた。
- ・物理的な支援以外では、「プロサッカー選手と一緒にサッカー」45件（53%）と、「Jリーグや日本代表の試合観戦体験」52件（61%）の希望件数が多い。
- ・「子どもが誰でも自由にスポーツを楽しめる居場所」は47件（55%）あり、経済社会的な事情に関係なく、自由にスポーツができる場所の必要性が再認識された
- ・「相談環境」に関わるニーズも一定数あるが、相談窓口だけでなく対象者の状況に応じて提案できる支援とセットで整えていくことが望ましい

保護者の声

- 最後の学年（6年）になるので、夏合宿や高学年合宿があるのですが、10万円を超えるので、参加させることがかなり厳しい。一番楽しく、試合がたくさんあり、チームとしての最大の合宿ですが、子どもはひとり親の私に「行かなくて大丈夫だよ」と言ってくれますが、その心遣いも申し訳なさや不甲斐なさで押し潰されそうです。周囲の保護者やコーチから「絶対行った方がいい！！」と言われ、分かっているのに・・・。
- 食料は支援でいただいたもの、サッカー用具やウェアは周りの方からいただいた物を使っています。周りの方の力でサッカーを続けることができています。
- 成長していくにつれ、交通費が大人料金になり、チャージがあつという間に無くなったり、スパイクなどが値段が高くなっていること。でも、お金がないから行くなとか、買わないでは言えないのが辛いです。
- 練習用の靴やウェアに困っています。まだ小さいので普段の靴で練習へ行きますが、あつという間にボロボロになります。トレーニングシューズを買った方が良いと思いつつ、失業中のため経済的な余裕がありません。親族には習い事など反対されているので、誰にも相談できず今始めるべきではなかったとか、我慢させた方が良かったのかと毎日悩んでいます。でもこういった支援をいただけることで娘にもサッカーをさせてあげられることができて嬉しいです。ありがとうございます。
- サッカーはソックス、くつ、ユニフォームなど色々買うものがたくさんある。子どもにひきめを感じさせたくないの、買わないと継続できないと考えるが金銭面で辛い。その板挟みです。

8 必要な支援について

保護者の声

- 子どもたちがやりたいことを金銭面では諦めさせたくなくて、中学生になってもクラブチームに入りました。双子なのでお金は2倍。かなりきついです。これからも合宿や遠征などでどのくらいお金がかかるか心配。
- コロナの影響で活動がないのに、月謝が返金されないことが悲しいです。
- 経済的不安が大きいです。娘の通学費、大学進学を希望していることもあり、私ひとりの収入では不安です。
- サッカーへの送迎と仕事の両立が難しい。子育てと両立できる仕事がない。母子家庭のため、普通の家庭に比べて全てが半分以下。お金、時間、してあげられること（一緒にボールを蹴るなど）が十分にできてあげられない。
- 悩みは金銭面のみです。部費と遠征費が特に不安です。また、育ち盛りであるため、スパイクも1シーズンもたず、大変です。できれば我慢させず、足にあったものを履かせたいです。
- 子どもの成長が早く、スパイクやウェアがすぐにサイズアウトしてしまうため経済的な不安があります。
- サッカー経験のない母親なので、練習につき合ったり、アドバイスがしてやれない
- 成長はありがたいがサイズがどんどん大きくなっていくのでその都度買い替えることに頭が痛い。
- 子どものサッカー用具を買ってあげる余裕がない。もしクラブチームに行きたいと言われても、行かせることができない。
- 息子はサッカーを習いたいと言っているのですが、現状の経済的・時間的に可能なのが心配です。習い始めてもすぐに辞めることになっては申し訳ないなと思っているところです。
- 女子の双子もサッカーをしています。高校生になるのですが、近くで良いクラブチームがなく男子の学校で練習するしかありません。女子のチームがもっとたくさんあれば良いなと思います。
- 経済的な理由がなければやりたいことをやってもらいたいし続けることもできますが、一時的な支援では一時的にしか続かないので常に先のことが心配です。支援なしで自立できるようになりたいですが、まず始めるための用具をいただけることに大変感謝します。
- コロナで部活時間が減り、子どもが活発でなくなった

子どもがサッカーを始めたことや、続けていることで家族が嬉しいと感じたときのエピソードを教えてくださいました。子どもたちがサッカーをできることの「希望」を伝えられると幸いです。

- 4歳の時に父親を亡くしたこの子は3人兄弟の末っ子です。上の兄、姉もサッカーをしています。悲しい時、苦しい時でもサッカーだけはいつも子どもたちの息抜きや支え、希望でした。でもその反面、父親のサポートを受けている周囲の友達を見て「パパがいたら・・・」と思うことも多かったかもしれません。いいことばかりではなく辛いこともあります。でもだからこそ兄弟や家族4人の絆はサッカーを通して強まっていると思います。コロナ禍で人とボールさえ蹴れない子たちもいる中、3人で自主練をしたりする姿に同じスポーツをやっている姿に良かったとあらためて感じていた1年でした（埼玉）
- 母子家庭で土日も仕事なので送迎、試合を見に行くことができず、たまたま近くで試合だったため影で子どもの試合を見ていたところを息子が私に気づき、全力で走り、シュートを決めた後、こっちを見て汚れた顔の笑顔でピースサインをしてくださいました。毎日頑張っていたんだと心から嬉しく、泣けてしまいました。経済的にも環境にも大変でしたが、2人でサッカーを続けてきて良かったと思えた出来事でした（大阪）
- 子どもたちがサッカーをしている姿を見ることで仕事や日々の疲れがなくなります。悔しさや喜びを子どもと一緒に味わえるので楽しいです。長男は、初めて点を決めたとき、夢かと思って、自分でほっぺをたたいていました。次男は、最初はダブルタッチとブラジル体操ができなかったけど、友達に教えてもらってできるようになった時うれしかったようです（愛知）
- 母が学生時代に女子サッカーをしていました。部屋の片付けをしている際、当時のユニフォームが出てきました。「かっこいいねー」と早速着替えて、ニコニコしていました。以前は母である私も運動することが大好きでしたが、子どもと2人の生活ではなかなか運動する機会もなく・・・。娘も走れるようになってきたので、公園でサッカーの真似事をして遊べるようになりました。いつも遊んでいる公園へ土曜日に行ったとき、サッカークラブが練習をしていて「やりたいー」と言うようになりました。なかなか入会する経済的な余裕がなく困っていたけれど、日に日にサッカー熱が高まり体験をさせてもらいました。娘は大喜びして私のブカブカのユニフォームを着て、練習へ行きました。走り回っている娘を見ると懐かしく感じるとともに、成長を感じほっこりします。母のサッカーしている姿（ビデオ）を見せると「お母さんかっこいいー」と褒めてくれるようになりました（東京）
- トレーニングマッチでも試合に出れて喜んでいる子どもの姿を見ると、がんばってサッカーしてもらって嬉しいなと感じます。1回は辞めさせてしまったけれど、それでもサッカーを好きでいてくれて続けたいと思ってくれて良かったと思っています（福岡）
- 見ていて絶対に疲れているだろうなあと感じていたところ、帰りに子どもが「サッカーやっぱり楽しいー飽きねえー」と急に叫んだことがありました。カワイイと思いました（笑）（沖縄）

- 最近になって子どもが思っていたことを話してくれました。「サッカーは1人でやれない。だからチームみんなコミュニケーションが大事」と。仲間達に声かけをしていると聞きました。以前の子どもからは出てこない言葉でした。すごくサッカーをしていて成長したなと思いました(東京)
- この度はご支援くださりありがとうございます。コロナ禍で部活もなくなりサッカークラブへと検討しているところへ案内を拝見し、前向きに考えられるようになりました。サッカーをすることが大好きなようで、願いを叶えてやりたいと思っています。ありがとうございます(愛知)
- サッカーを始めて4年ですが、すごく上手になったこと。最後まで諦めずによく走っている。目標は高校サッカーでテレビに出て、活躍することだそうです。親の私としては、コーチという大人の男性が身近にでき、信頼できる方達ばかりで嬉しかったです(子どもが0才の時に離婚していて、父の存在を知らずに完全に親1人、子1人だったため)(千葉)
- 自主練を行っていて出来るようになった事を見せてくれたり、小学校のクラブチームではMVPを取ることができ表彰され、お金には困りましたが成長した姿を見れたのはすごく嬉しかったです(東京)
- 体型が少しぽっちゃりしていて、始めた頃は「大丈夫かなあ・・・」と心配をしていたのですが、サッカーを始めて1年8ヶ月ですが、かなり体型も引き締まり、学校のマラソン大会でも10位以内に入るようになりました。やはり辞めていく子もいるけれど、夏には見たこともないほどの汗をかき帰ってくる子どもの姿を見ると、「頑張れ!」と思います。サッカーが週2日ある日はちゃんと宿題(終わらないと参加できない)するので、サッカー楽しいんだろうなあと思います(熊本)
- 砂まみれ、汗まみれで帰ってきて、サッカーがすごく楽しい!好き!どんなことがってもずっと続けたい!とキラキラした目で話してくれたことは今でも心に残っています。優秀選手賞のメダルを合宿でもらってきたことがあり、今でも飾っています(千葉)
- 大変なこともあるが、子どもの応援をすることで一緒に喜んだり悔しがったり、気持ちを共有出来ることが何よりも嬉しいです。子どもたちが難しい年頃でも、親子で唯一繋がれていることのような気がします(山形)
- サッカーを通じてたくさんの友達と会えた。サッカーの楽しさを共有できた。このようなサッカーでの温かい支援で、温かい人々に出会うことができた。ありがとうございます(愛知)
- 練習に行く前(休日の朝)は、その日の気分で「今日は行きたくない」とぐずっていても、いざ練習(や練習試合)が終わって家に帰るときは、汗ばんだ顔で「楽しかった~!」と嬉しそうに行っているパターンが多く、私も元気に走り回る子どもたちの姿を見て、楽しい気持ちになっています(東京)
- 毎回終わった後に、シュート決めたよ!と嬉しそうに話してくれています(神奈川)

- サッカーを始めてからトレセンに受かった時は「お前、オマケで受かったぞ」と言われるレベルでした。それが悔しかったようで色々努力するようになり、学校から帰ってきて走り込みに行ったり、毎日ボールをさわる、試合中に声を出すように意識するようになり、5年になってからキャプテンを任されるようになりました。選ばれた時の顔はとても誇らしそうで、今でも覚えています。努力が身になることを実感すると、本人もモチベーションかなり上がるようです。中学に入りやっとな県トレセンを受かり、それを報告してくれた時の顔もとても嬉しそうでした。
- 仕事やコロナの影響もありサッカーをしている姿を見ることはできませんが、子どもからゴールを決めた時など目をキラキラさせて話してくれることがサッカーを続けてこれて本当に良かったと思っています。部活も思うようにできていませんが、友達とサッカーしてくると言って元気に出ていく姿はいつも嬉しく感じています（千葉）
- 離婚したことにより転居しましたが、転居先でもサッカー好きの子どもたちとすぐ仲良くなることができ、子どもの心の支えになった。地方の大会ではありますが、賞をもらったりしたことがあり、父親がいないことの寂しさで多分心の何処かが欠けていたこともあったと思うのですが、そこが埋められたように感じたところもあると思います。自分にはサッカーがある。そんな自己肯定感の形成にも繋がっているように親として感じます。月謝はきついですが、続けさせてきて良かったです（広島）
- 小2からサッカーを続けています。中学時代は部活でサッカー部がなくクラブチームに所属していました。クラブチーム時は本当にお金がかかり（20万円/年）、続けていくことが難しかったが無理してでも継続できたことは子どもにとって良かったと感じています。仲間作りや継続できた達成感など子どもにとって今後も糧になってくれると思います（福井）
- サッカーを続けていくことで、辛いときやきついときもあるだろうけど、色んな所で気が合う友達を作って、今では色々な地域に仲良しの友達がたくさんできていることが嬉しいと思います。1年生でサッカーを始めたときは近所の友達やお兄ちゃんたちと仲良くなり、今では地域を超えて友達たくさんで、また中学・高校など成長していく上で助け合って頑張っているって欲しいです。サッカーでこんなに友達がたくさんできるとは始めた時には思っていなかったです。これからもサッカー頑張って欲しいです（福岡）
- 子育てにおいて「やり抜く力」が注目されています。上手い下手に関わらず、サッカーを通じて1つの目標を達成していく経験、チームワークなどを学べたらと思う。嬉しいエピソードは、小2まで通っていた小学校で年齢関係なく毎日放課後にサッカーを楽しみ、上級生に負けじと走り回っていた息子の充実していた笑顔と時間。取り戻すことはできないが、今回のことをきっかけに再びサッカーを始めてくれたらと望んでいます（和歌山）
- 親子ともにサッカーを通して新しい友人ができたことはサッカーをし続けていて良かったと思います。土日ほぼ一緒に過ごしているので子どもにとってサッカー仲間は特別な友達だと思うので、そういった友達ができたのはサッカーをやっていたからこそだと思います（群馬）

- まだ始めていないので遊びでサッカーをしている時のことですが、リフティングが15回出来たよ!!!と、とても嬉しそうに話してくれました。子どもの成長を感じることができ、大変嬉しかったです (三重)
- 小学校1年生からサッカーが大好きでずっと続けています。なかなかレギュラーをつかめないことが多く本人も私も落ち込んだりすることもあります。何よりサッカーが好きで続けていること嬉しく思います。小さい頃は泣き虫でしたが最近は強くなったなあと思います (北海道)
- まだ保育園の年長だったころ、友達のお兄ちゃんがサッカーをやっているとその友達について行ってサッカーを見学させてもらい、しばらくモジモジ入会することができず、少しずつ先生や先輩に声をかけてもらってチームに入って行けたことを思い出します。その頃から学校の休み時間や、休日は学年を超えてグラウンドに集まってサッカーをするようになりました。他の習い事を薦めても、「俺はサッカーやってる」と自信を持っています。色々なことに目を向けて欲しい親心はありますが、本人が心から楽しいと思って打ち込めるサッカーをしている姿を見守れることが私たち親にとっても喜びになっています (神奈川)
- 日中働いているため送迎できず家から自分でいけるクラブチームしか選択はなかったのですが、まわりの親に助けてもらい試合でシュートなど活躍できたところの動画を送ってくれたのを見た時、成長を感じて嬉しかったです (北海道)
- 親の私自身子どもがサッカーを始めたことをきっかけにママさんサッカーを始めました。チームで何かを達成することの素晴らしさ、自分が目標を持ち頑張ることの必要性を知ることができました。それを娘が今も「全国大会」へ向け日々頑張っていることを応援できることが嬉しいです (長野)
- 同じ市内だけでなく、あちこちにお友達ができた。現在もサッカーで有名な高校の部活に入っていますが、顔見知りがたくさん。サッカーで培った最後まで諦めない精神は受験の際でも生かし、難しかった高校への合格を勝ち取りました (東京)
- サッカーは団体競技なので、子ども同士の関わり、人間関係の構築など体力面以外でも子どもにとっていい影響が与えられると思っています。費用面で続けることができなかったサッカーを再度習えるようになると大変ありがたく思っています。普段は学童なのでなかなか放課後に子ども同士遊ぶ経験ができませんが、サッカーを通じて子ども同士の人間関係を築けると思います。ありがとうございます (大阪)
- 引っ込み思案でしたが、サッカーを始めたことにより積極的になっていったこと。サッカーを始めて1年でセレクションの最終まで行けたことが嬉しかったです (千葉)
- 小学校3年生から地元のサッカーチームへ入会し、サッカーが好きで私もひとり親費用の不安もあり、中学では部活でキャプテンになりたいと夢を持ちサッカー部へ。サッカーの楽しさ、走ってボールをつなぎ、シュートでの1点。息子はFWを長い間していたので1点を決めた時のチームの喜びや感動を忘れることはできません。チームで戦う楽しさや苦悩もありますが、やはり1点をとる喜びは本当に感動します (福岡)

- コーチに褒められた時うれしい (福岡)
- 部活でサッカーを始めてから私が思っていたよりも周りの評判が良く、選抜選考会は不合格でしたが、部活の代表として出れたことを私は息子を誇りに思います。サッカーが大好きな息子は部活のない日も友達とサッカーをして帰宅します。ひとり親で応援にはほとんど行けていません。役員は大変ですが、息子がサッカーを頑張っているのも私も頑張れる！できる限り息子の夢、プロサッカー選手になるサポートができることがあればします。息子に頑張ってもらいながら少しずつサッカーのことが分かってきました (沖縄)
- プロサッカー選手になるという夢を諦めず日々練習を頑張っている姿に親は嬉しいと思っています。子どもはサッカーができることが増え、試合に出たり、めきめきと力をつけている自分に喜んでいます (愛知)
- 兄の影響でサッカーを始めました。サッカーをしている時は顔つきも変わり、とても楽しそうにしています！！兄は辞めてしまったけど、弟はサッカー日本代表が夢なので中学はクラブチームに入りたいと言っているのが私が頑張らなければと思っていますが、苦しさもあります。夢は諦めさせたくないの、上手くやりくりできるようにします！！ (沖縄)
- 仲間との絆、団結力、目標を達成できた時の達成感を小さい頃から経験できた。中学に進学して仲間とは違うチームになってライバルではあるけれど、試合以外ではみんな仲良しでサッカーを通じて得られた財産であると思う (兵庫)
- 2020年度のJFAトレセン某県U-12の選考会に合格したことです。本人もますますやる気と希望を持つようになり、すごく嬉しいです。
- サッカーの試合などで勝負を決める場面で仲間達とともに喜び悔しむ経験が、応援している親とともに一緒に成長できています (大阪)
- 他の子どもがたくさんスクールに通っていても、うちは厳しい分メニューと一緒に考えて朝練や自主練を親子でやっている時、子どもが嬉しそうでした。頑張りが成果に出て、スタメンに選ばれたこと、小さい技を習得でき試合で活躍できたときはとても嬉しそうでした。本当にサッカーが大好きで、家の中でも常にボールをさわり、愛犬ともボールでサッカーしてます。体力もかなりついてきているので、思う存分に楽しんでやっています (東京)
- 好きなことを全力で楽しむ気持ちを持ってくれたことや、目標に向かって耐えたり、頑張ったり、努力ができたことが嬉しいです。大切な大会で息子のチームが勝ち上がっていったとき、負けたチームの子が立ち上がることができず泣いている時、PKで負けた相手チームのGKに一番先に向かい、背中に手をあて声をかけている息子をみたときにとっても嬉しく、サッカーを続けさせて本当に良かったと思いました (宮城)

- 息子はクラブチームに所属していますが、正直強いチームではありません。監督やコーチが上手い下手関係なく、子どもたちの個性を尊重してくれるので、前のチームでは（体が大きいために）GKばかりやらされていた息子もサッカーの楽しさを知ることができました。兄弟ともにチームメイトに恵まれ、学校との友達とは違う「仲間」ができたことが嬉しいです（神奈川）
- キーパーをやっていますが、1つ上の学年の試合でPKになった時、周りも止めれないと少し諦めていたのですが、PKを止めた時はすごい！うまい！と息子を少し誇らしげに思いました。兄は小学校の間に、優秀選手賞4回もらえたのがサッカーをやらせていて一番嬉しいです（青森）
- 小学生の時GKが全員インフルエンザで試合を休んだことがきっかけでGKをやることになり、その時の活躍からGKになりました。元々希望していましたが、途中からチームに入った引け目からやりたいと言えなかったのが、念願叶って嬉しそうでした（神奈川）
- 発達グレーゾーンで忘れ物やなくし物の多い子ですが、サッカーに関してだけは自分でスケジュール管理や荷物の準備ができています。「好き」という気持ちってすごいなーと感じています（神奈川）
- 子どもの嬉しい出来事は、サッカーの試合でゴールを決めたとき、相手のボールをカットしたとき、コーチが褒めてくれたとき、友達（学校、クラスの子以外）が増えたこと。保護者として嬉しいことは、はじめての試合ではうまくできず、涙し、地面に座り込んでしまっていたが、今は泣かずに参加できるようになったことです（千葉）
- 長く続けることで夢を諦めない、やり切るといった強さが鍛えられました。新しい物を買ってあげられず、穴の空いたソックスは次第にかかと部分が補強できず、短い靴下の上にソックスを履くことや、長く使い続ける。その気持ちが嬉しく思ったことがあります。子どもが一番の応援団でいることが言葉に出さなくても伝わる、今になってそう思います。たくさん子どもたちが夢に向かって行けるようにこれからも宜しく願いいたします（東京）
- 私自身サッカーをしておりコーチをしています。息子には強く言うてしまうことも多々あります。そんな中でもしっかりと成長しております。身体的にも精神的にも成長してくれて、今後も続けて欲しいです（愛知）
- 子どもがサッカーをやることで成長したと感じることが増えました。コーチからもよくやっているし、下の子たちの面倒をちゃんと見てくれていると言われました（愛媛）
- 近くの公園ではサッカー禁止で、マンション駐車場で一人でドリブル練習をしていたら大家から激しく怒られた。しかし、チームに所属すると仲間同士で堂々とボールを蹴ることができ、子どもはとてもスッキリしていた。表情が明るかった。年配の中にはサッカーを良く思っていない人が多い気がするが、子が元気になるスポーツですよ、と伝えたい（東京）

誰かが応援してくれるんだ、と思った。嬉しい。
無理だと思って考えてなかったけれど、サッカーの
スパイクずっと欲しかったからすごく嬉しい。
そういう大人もいるんだね。ありがとうございます。

僕もサッカー選手になって
しえんできる大人になりたいです。

本当にありがとうございます。
今回の支援をもとに、高校でおもいきり
サッカーを頑張りたいです。

サッカーを辞めることになって、
支援をしてもらってまた始めることが
できるのが嬉しいです。
ありがとうございます。

支援ありがとうございます。
6年生になってもサッカーを続けられるので
頑張りたいと思いました。

サッカー選手と会えて、
じゃんぼ宝くじが当たったくらいうれしいです。

ありがとうございます。
これからはこの応援を忘れずに、今まで以上に
がんばりたいと思います。

サッカーが好きなのですごく嬉しいです。
これからもサッカーがんばってもっとうまくなり
ます。

将来の夢がプロサッカー選手。いま好きな選手に
憧れている。自分もそういう選手になりたいです。
見ている人を喜ばせられるプレーをしてがんばり
たいです。いつか親に恩返しをしたい。今までサッ
カーをやらせてくれているから。

とても嬉しくて、
わくわく、どきどきしています。
早くサッカーを始めたいです。
ありがとうございます。

ありがとう。頑張る。

支援の連絡とてもうれしかったです。これから
もサッカーをがんばっていきたいと思います。
絶対有名選手になる。

ボロボロだったサッカーボールを新しくできると
聞いてとてもワクワクしています。

僕は支援をいただいてとてもうれしいです。
これからもサッカーを
がんばっていききたいです⚽

11 3つの提言

約30%の世帯が借入をして子どもにサッカーをさせている状況は、とてもショックな結果でした。日本のサッカーがあるべき方向へ進むよう確実に修正しなければいけないことです。これに対し法や制度を整える方法もありますが、幸いにも私たちにはサッカーコミュニティとして「協力する仕組み」でこの状況を変えていける力があります。コミュニティと共に活動する love.fútbol Japan として3つの提言をまとめました。

1. サッカー愛を、次世代につなぐ「1% FOOTBALL CLUB」の促進

私たちに沢山のことを与えてくれたサッカーを、子どもたちに届けたい。

そのために活動の質と規模を拡充するには、活動の手前にある「支援の流通」を豊かにする必要があります。今回支援を届けられた子どもたちは氷山の一角に過ぎません。日本では最大9万人の子どもたちが経済的な貧困下でサッカーをしている可能性があります。一方で私たちの武器は、日本にサッカー人口450万人の仲間がいること、サッカーがチームスポーツであることを知っていることです。9万人に対して450万人。ひとりひとりが1%でも行動しその力を集めることができれば、子どもたちの環境を変えられるという状況は、サッカーコミュニティだから実現できる希望です。

そのために開始したのが、サッカー愛を次世代につなぐプラットフォーム「1% FOOTBALL CLUB」です。私たちの大半が子ども時代に当たり前にサッカーをできたように、今の子どもと次世代が安心してサッカーできる環境を世代から世代へ引き継いでいきたい。開始から4ヶ月間で、すでに6人のサッカー選手、9組のサッカーコミュニティが参画し、子どもたちを支えています。サッカーをしたくてもできない子どもたちの環境を変えるため、さらなるサッカー選手、コミュニティの力を貸してください。

2. 活動の継続と、次なる事業体制の準備

この事業はニーズが高く、潜在的にさらに多くの支援希望者がいると予想されるため、love.fútbol Japan では活動内容を改善しながら2023年まで継続します。

また、ただ事業を継続するのではなく、その期間に次なる事業体制に繋げていくことを考えています。具体的には、1) 支援を必要とする人が情報にアクセスできること、2) 申請者が希望する支援を受けられるよう予算化し仕組みを整えること、3) これらを日本サッカー界の中心組織が主体となり具体的な施策に取り組むことが、次なる体制として必要であると考えています。特にアウトリーチと事業規模拡大に対する改善は必須です。例えば今回は27都道府県から申請がありましたが、20県からは申請がなかったこととなります。支援を必要とする人に情報を届けるアウトリーチはNPOとの連携が有効だと確認された一方で、草の根からトップレベルにわたりサッカー界による広報・啓発の協力は消極的でした。また、事業規模について、今回もし申請者の希望支援にすべて対応した場合、追加で270万円の予算が必要になりました。今後さらに申請者が増えることを想定すると予算確保は急務であり、サッカー界として包括的に対応する事業体制移行に向けた準備が必要とされています。

3. 子どもが誰でも自由にサッカーを楽しめる居場所づくり

もしあなたがサッカーをしたくてもできない子どもに出会ったとき、どうサポートするか様々な選択肢があります。そのときに、「だったらこの場所においでよ」、「あそこに相談してごらん」と安心して言える居場所が必要とされています。

今回実施した物理的な支援は「機会の提供」には有効ですが、私たちは子どもたちの日常により直接的に影響を与える「環境の変化」をつくるのが大切であると考えています。そこで、本事業に加えて、家庭の困窮状況等に関わらず、子どもが誰でも自由に無料でサッカーを楽しめるサッカーグラウンドづくり（居場所づくり）を進めます。

love.fútbol Japan とサッカー選手たちが協力し、神奈川県で子どもたちが誰でも自由に無料でサッカーを楽しめるスポーツグラウンドをつくること（居場所づくり）を目指します。グラウンドのコンセプトを「more than place to play」（スポーツをする以上の場所）と定め、これまでのコミュニティ型のサッカーグラウンドづくりの経験・ノウハウを生かし、子どもたちには常に無料開放するなど地域の子供たちに寄り添いながら、日本各地のサッカーをしたくてもできない子どもたちを支援する拠点として運営します。

12 これから必要としている支援

本事業は love.fútbol Japan に寄せられる寄付を原資に実施しています。

しかし、現状では今後申請のあるすべての方を支援することができない状況です。また今後は本事業の継続と、子どもたちが誰でも自由にサッカーを楽しめる居場所づくりを進めるため、「寄付」と「場所」を必要としています。

ひとりでも多くの子ども・ご家庭を応援できるよう、ご支援宜しくお願い申し上げます。

【寄付】

個人向け

サポーターの申し込み：
月額 500 円から申し込み
いただけます。



選手、コミュニティ向け

「1% FOOTBALL CLUB」に参画：
選手、サッカーに携わるコミュニティが
何かの 1% を寄付することで参画いただけます。



企業向け

寄付またはパートナーシップ：
「お問い合わせ」よりご連絡ください。



love.fútbol Japan は、神奈川県より認可された「特例認定 NPO 法人」です。

寄付をする方は、確定申告で寄附金控除を受けることができます。

企業の場合、一般寄付金の損金算入限度額とは別に、特別損金算入限度額の範囲内で損金として算入することができます。

【場所】

「子どもが誰でも自由にサッカーを楽しめる居場所」の象徴となるスポーツグラウンドを神奈川県につくるため、「土地の提供や活用」に協力いただける方を必要としています。

コンセプトを「more than place to play」
(スポーツをする以上の場所)として、地
域の子どもたちに寄り添いながら、日本各
地のサッカーをしたくてもできない子ども
たちを支援する拠点として運営します。
ご協力宜しくお願い申し上げます。

<お問い合わせ>



メール：japaninfo@lovefutbol.org



本事業をご支援いただいた方々

個人

マンスリーサポーター 131 名のみなさん

サッカー選手

* 敬称略

- ・ 富樫敬真 (V・ファーレン長崎)
- ・ 野口竜彦 (ファジアーノ岡山)
- ・ 田邊草民 (アビスパ福岡)
- ・ 小林悠 (川崎フロンターレ)
- ・ 森谷賢太郎 (愛媛 FC)
- ・ 齋藤学 (名古屋グランパス)

企業

AZS
AZUSA SEKKEI CO., LTD.



comrade



Ground Maintenance Enterprise
GME 株式会社

Gratia

TOA
東亜道路工業株式会社

3 三協社労士行政書士事務所
SANRYO

pragmà

株式会社 プラグマ
社会保険労務士法人 プラグマ 中井啓之助 税理士事務所

YELLtum



RiSE 髙スポーツファシリティ研究所
Research Institute of Sports Facility

サッカーコミュニティ

SHUKYU



MUNDIAL JPN

SEVEN F.



ASCHII FUTSAL PARK
MATSUSAKA



いちらカフェ
ICHIRA CAFE



12FI
12% FOOTBALL CLUB



For every kid, a safe place to play

特定非営利活動法人 love.fútbol Japan

<http://www.lovefutbol-japan.org>

メール : japaninfo@lovefutbol.org
